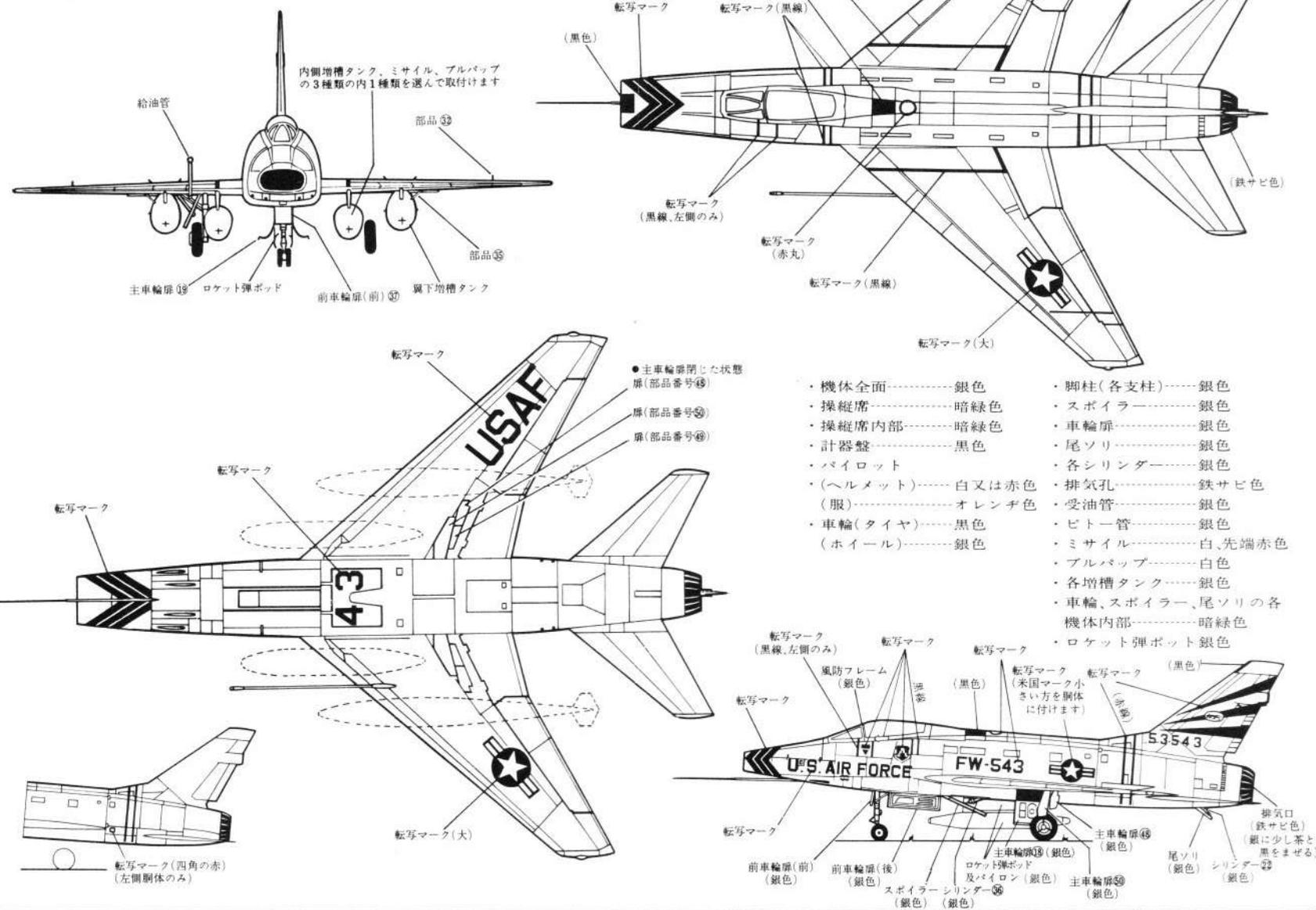


■塗装及転写マーク参考図

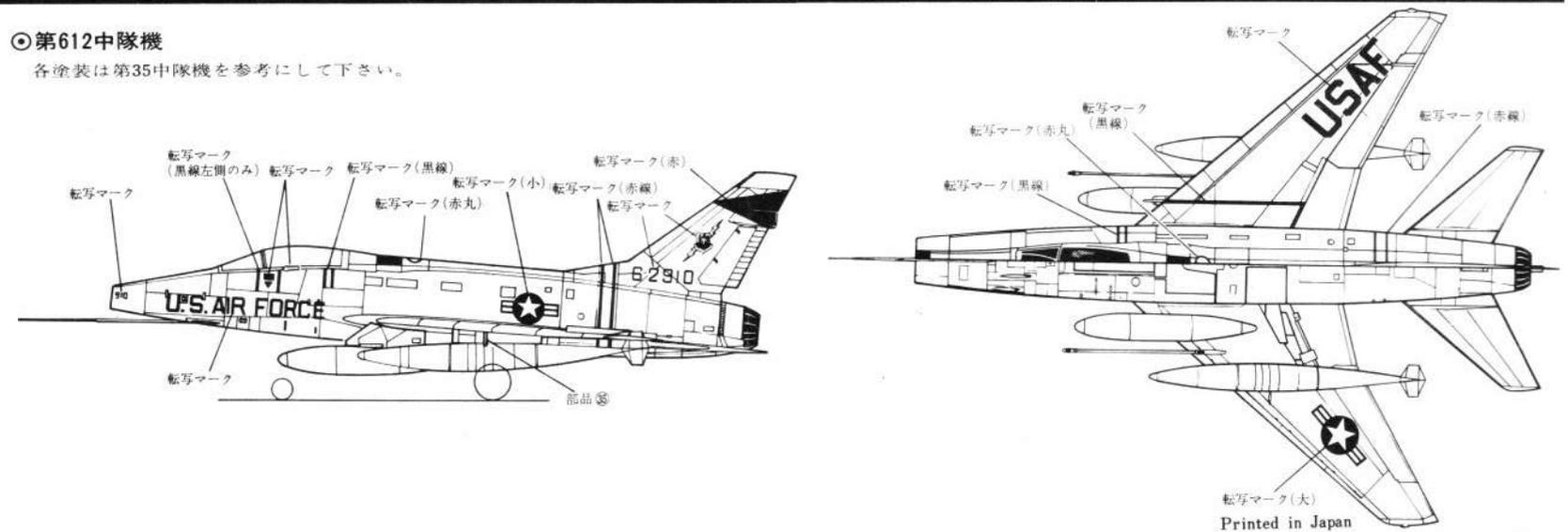
※転写マークのベトナム迷彩マークは、迷彩塗装機専用です。下の各中隊機には使用しないで下さい。
塗料はプラスチックモデル用塗料（スチロール用）の半ツヤ消又はツヤ消を使用すると効果的に仕上がります。

◎第35中隊機



◎第612中隊機

各塗装は第35中隊機を参考にして下さい。



North American-Rockwell F-100D SUPER SABRE
1/72 SCALE F-100D スーパーセイバー

シリーズ No.32



■アメリカ空軍戦闘攻撃機について

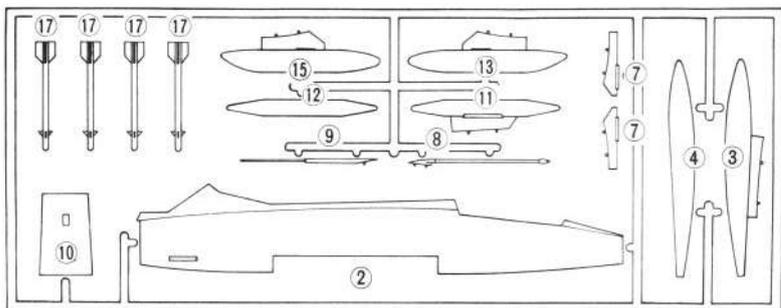
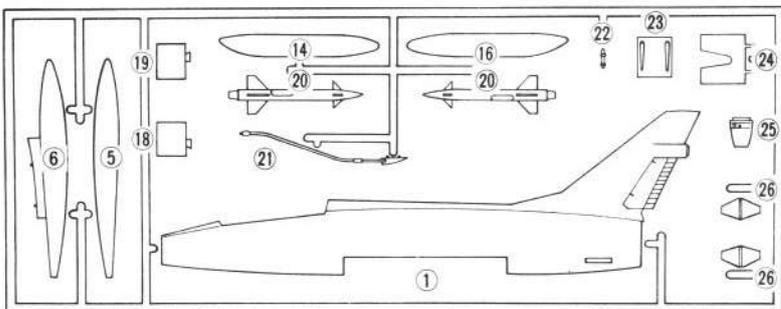
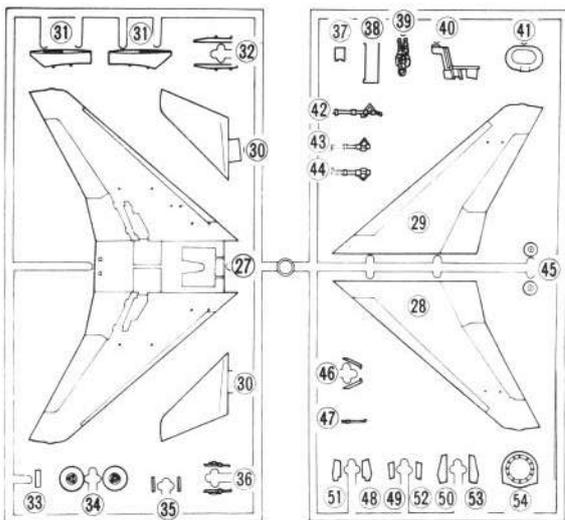
本機F-100の登場は1953年である。就役当時はトラブルが多くあまり期待されなかったが、その後の改装で一躍「航空戦の衝き手」として2,300機にもほる量産が行われ、アメリカ空軍、フランス、オランダ、トルコ、デンマーク、台湾など数々の第1戦任務に使用された。やがて旧式化した。アジア戦域での低空攻撃能力の優秀さを買われて、現在アメリカ空軍の戦術攻撃力の主体として活躍を続けている。プラット&ホイットニーJ57エンジンを搭載して時速800マイル以上、しかも大量の各種爆弾に加えて4基の20mm機関砲・サイドワインダーの外、バルバップ、ミサイルをも装備して対地攻撃力は高く、低空での運動性といまって局地戦における威力をいかに発揮している。また本機を使った空軍曲技団の機体はその美技と共に塗装は一段と美しく、ファン諸氏も一度試みられることをお勧めします。

ハセガワ1/72シリーズ

シリーズNo.1	ミコヤンMIG-21ファイッシュベド	¥ 200
No.2	ロッキードF-104Jスターファイター	¥ 200
No.3	リパブリックF-105Dサンダーチーフ	¥ 250
No.4	川西2式飛行艇I2型(H8K2)	¥ 1,000
No.5	ノースアメリカンロックウェルF-86セイバー	¥ 100
No.6	ノースロップF-5Aフリーダムファイター	¥ 100
No.7	ノースロップT-38Aタロン(F-5B)	¥ 100
No.8	LTV A-7AコルセアII	¥ 250
No.9	BACライトニングFMK-6	¥ 250
No.10	マクダネルダグラスF-4KファントムII	¥ 250
No.11	マクダネルダグラスF-4JファントムII	¥ 250
No.12	I8試陸上攻撃機連山	¥ 700
No.13	ノースアメリカンロックウェルOV-10Aブロンコ	¥ 200
No.14	ロッキードP-38ライトニング	¥ 250
No.15	ウエストランドガネット	¥ 250
No.16	メッサーシュミットME410	¥ 250
No.17	グラマンA-6Aイントルーダー	¥ 300
No.18	ノースロップP-61ブラックウィドウ	¥ 350
No.19	フォッカーF-7B-3Hサウザンクロス	¥ 350
No.20	ビッカースビミイ	¥ 350
No.21	グラマンOV-1Aモホーク	¥ 200
No.22	グラマンOV-1Bモホーク	¥ 200
No.23	サーブAJ-37ビゲン	¥ 250
No.24	RA-5Cビジランティ	¥ 350
No.25	ウエストランドワレス	¥ 250
No.26	ブラックバーンシャーク	¥ 250
No.27	ウエストランドライサンダー	¥ 250
No.28	ユンカースJu87Gスツーカ	¥ 250
No.29	デハビランドモスキート	¥ 300
No.30	ユンカースJu88	¥ 300
No.31	ボーイングB-47Eストラトジェット	¥ 1,000
No.33	マクダネルダグラスRF-101Cブードー	¥ 250

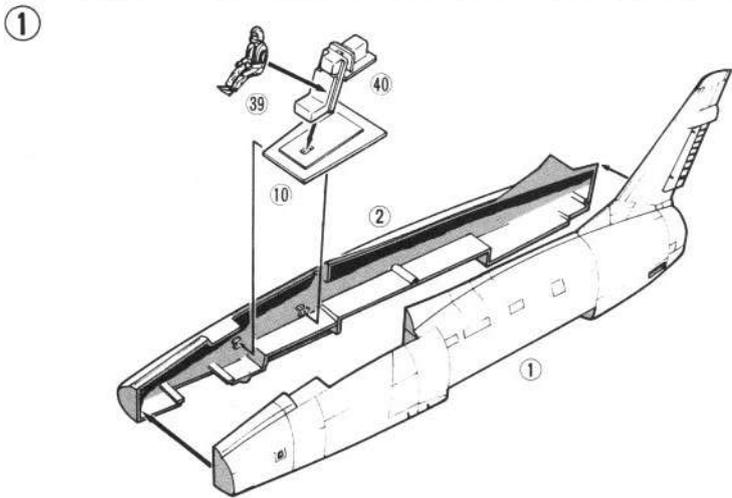
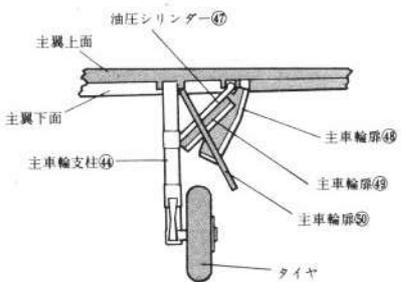
部品図及部品番号

- ・モデルを組立る前によく説明を読んで、部品と組立図をよく見て照し合せ指示に従って作って下さい。
- ・ランナー（枝）から部品を切りはなす時には、手でもぎとらないで、ニッパーか又は金工用のハサミで、ていねいに切り取って下さい。万一バリ（余分に出ている部分）がありましたらナイフ等で削り取って下さい。
- ・部品をランナーから切りはなす際、最初に全部切り取る様な事はしないで、組立てる部品だけずつ切り取って下さい。
- ・組立てた後で塗装出来ない部品（人形、座席等）は組立てる前に塗装して下さい。又小物部品はランナーに着けたまま塗装して下さい。
- ・部品を取付ける際の取付位置及取付角度は、裏面の図を参考に取付けて下さい。

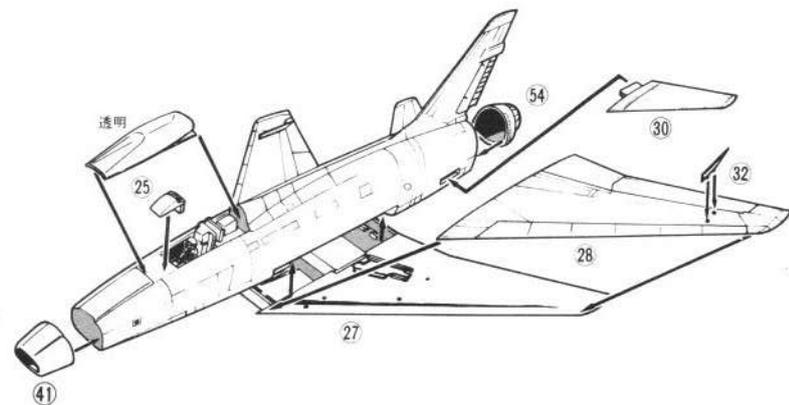


図一A (左側正面略図)

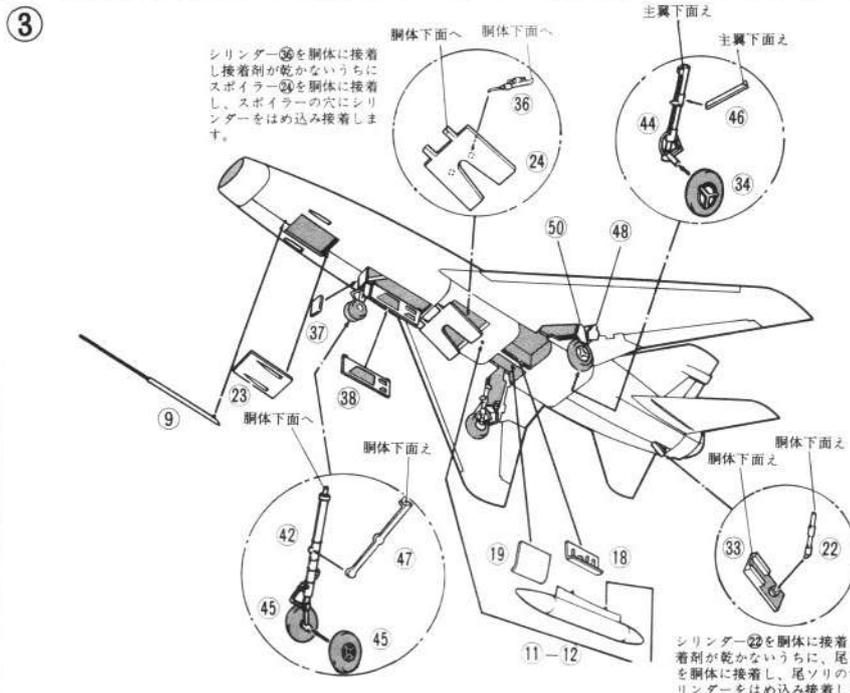
1. 扉⑭を油圧シリンダー⑮に接着します（巾の狭い方を主車輪支柱側に接着して下さい。）
 2. 扉⑮を主車輪支柱付根に接着します。
 3. 扉⑯を油圧シリンダー、主翼付根附近に接着します。
- ・裏面の下面図は扉の閉じた状態の図です。扉の向きを参考にして下さい。



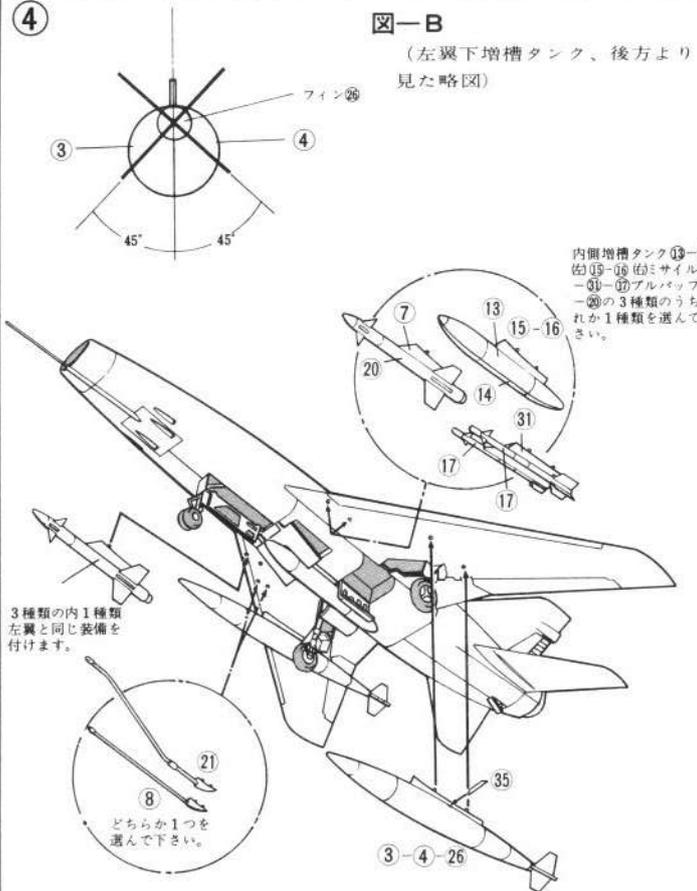
1. 操縦席床材⑩、人形⑲、座席⑳と操縦席内部を塗装します。
2. 胴体①②を接着します。その際同時に、操縦席床材⑩を胴体内側の取付位置に接着して下さい。
3. 座席⑳と人形⑲を接着し胴体内部に取付けた操縦席床材⑩にこれを接着します。



1. 胴体に主翼下面⑳を接着し、主翼上面㉑(左)、㉒(右)をこれに接着します。
2. 計器盤㉓を塗装します。
3. 空気取入口㉔、排気孔㉕、水平尾翼㉖を胴体に接着し、主翼上面に境界層板㉗を接着します。（但し、境界層板㉗を接着する前に、翼上面の転写マーク USAFをつけて乾燥後境界層板を接着します。）
4. 計器盤㉓を操縦席前部に接着し風防(透明)を接着します。



1. 胴体下面前部に胴体部品（機銃の穴があります）㉘を接着し、次にビーター管⑨を接着します。（胴体部品㉘の一部に ビーター管⑨の接着部がかりますので、必ず胴体部品㉘より接着して下さい。）
2. キャノピーをセロテープでカバーしてから機体全面を塗装します。（当社発売エアースプレー「ブラック」(銀色)を使用しますときれいに塗装出来ます）
3. 前車輪④と主車輪③、各支柱⑫⑬⑭とミランダー⑯⑰・前車輪扉⑱⑲と主車輪扉⑳⑳(左)、㉑㉑(右)・スポイラー㉒とシリンダー㉓・尾ソリ㉔とシリンダー㉕をそれぞれ塗装します。
4. 前車輪、主車輪、スポイラー、尾ソリの各機体内部を塗装します。
5. 前車輪④と前車輪支柱⑫及び主車輪③と主車輪支柱⑬⑭を接着します。
6. スポイラー㉒とシリンダー㉓及び尾ソリ㉔とシリンダー㉕を胴体下面取付位置に接着します。但し、第35中隊機を作る場合スポイラーに転写マークをつけてから胴体に接着します。
7. ロケット弾ポット⑪⑫を接着します。
8. ロケット弾ポットを塗装します。
9. 前車輪支柱とシリンダー㉖及び主車輪支柱とシリンダー㉗を胴体と主翼の下面に、それぞれ接着します。
10. ロケット弾ポットを胴体下面に接着します。
11. 各車輪扉を胴体下面及、主翼下面に接着します。取付位置及取付角度は図一A及び裏面の図を参考にして下さい。（前車輪扉⑱⑲、主車輪扉⑳⑳(左)、㉑㉑(右)）



1. 受油管曲り㉘と直⑧の2種類がありますので、どちらか一つを選んで塗装します。
2. 翼下増槽タンク③④⑥(左)と⑤⑦⑥(右)を組立、塗装します。（フィン㉙を接着する際図-Bを参考にして下さい。）
3. 内側増槽タンク⑬⑭(左)、⑮⑯(右)、ミサイル⑰⑱⑲、ブルバップ⑳㉑の3種類の内、1種類を選んで組立、塗装します。
4. 主翼下面に受油管及び翼下増槽タンク及び③で選んだ1種類をそれぞれ接着し、部品㉒をタンクと翼下面に接着します。（翼下増槽タンクには左側用、右側用があります。注意して下さい。）
5. まだ塗装していない部分（排気孔等）を塗装します。（裏面参考）
6. 最後に転写マークをつけます。（裏面参考）

図一B (左翼下増槽タンク、後方より見た略図)

内側増槽タンク⑬-⑯
⑰-⑱はミサイル
⑲-⑳はブルバップ
㉑の3種類のうちどれか1種類を選んで下さい。

3種類の内1種類
左翼と同じ装備を
付けます。

⑧
どちらか一つを
選んで下さい。